

9. おわりに

これまで、平成 21 年度「男女共同参画に係るアンケート調査」について、調査方法、回答者のプロフィール、ライフについて、ワークについて、ワークライフバランスについて、次世代の女性研究者・職員の育成、取り組みの周知度、また自由記述の分析を行ってきた。

結果を見て感じていることは、性別や職種を限らず、とにかく仕事が忙しく、ワークライフバランスに何らかの不満を感じている人が非常に多いということである。その中でも家事、育児、介護などの家庭面での負担を行うことの多い女性たちには、特に負担感が強い。

今回のアンケート結果は、この報告書の分析のみの使用に終わらせるのではなく、そのような大きな負担を感じている人たちにとって、また全ての教職員にとって、どのようなサポートが有効であるか、どのように組織として支援していくかを共に考えていく参考にしたいと考えている。

最後に、大変お忙しい中、回答にご協力頂いた皆様と、また配布・回収にご協力いただいた職員の皆様に感謝を申し上げたい。

平成 21 年度文部科学省科学技術振興調整費
「女性研究者支援モデル育成」事業
「山形ワークライフバランス・イノベーション」

第 2 部 男女共同参画に係るアンケート結果報告書

2010 年 3 月発行

発行 山形大学男女共同参画推進室

連絡先 〒990-8560 山形市小白川町 1 丁目 4-12

Tel 023-628-4937,4938,4939 Fax:023-628-4014

URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/danjo.html>

E-mail danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp